

2023 年 3 月 3 日

各位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

「第 2 回日経統合報告書アワード 2022」にて優秀賞を受賞

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(取締役執行役社長:高倉 透、以下「当社」)は、日本経済新聞社が主催する「第 2 回日経統合報告書アワード 2022」において、優秀賞を受賞しましたのでお知らせします。

「日経統合報告書アワード」は、日本企業の発行するアニュアルレポートの更なる充実と普及を目的に 1998 年から実施されている「日経アニュアルレポートアワード」が 2021 年度に改称されたものです。現役のファンドマネージャーやアナリストの方々が、応募企業のアニュアルレポート・統合報告書を複数の項目別に審査し、特に優れたものを表彰する取り組みです。

「日経統合報告書アワード」として第 2 回目となる 2022 年度は 387 社が参加し、その中からグランプリ 3 社、ESG グランプリ 3 社、準グランプリ 6 社、新人賞 1 社、特別賞 1 社、および優秀賞 41 社が選出されました。

当社は、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに、新たな価値を創造する取り組みやガバナンス高度化の取り組みなどを広くご理解いただくために、2017 年より統合報告書を発行しています。2022 年度版では、当社の存在意義(パーパス)を全体の軸に、信託法・信託業法の制定から 100 年という節目の年であることを意識し、信託発展の歴史や「信託の力」で切り拓く未来について特集を設けました。また、社会的価値および経済的価値の創出に欠かせない人材戦略について、社員の Well-being を起点にお客さまや社会の Well-being 向上をもたらす「好循環」を創り上げる考え方を記載しました。今回の審査でも、人材戦略の全体像や個別の取り組みを分かりやすく伝えている点が、高く評価されています。

今後も統合報告書の更なる充実・改善に取り組み、ステークホルダーの皆さまが当グループの取り組みをご理解いただくためのコミュニケーションを活性化していくとともに、公正でタイムリーな情報開示に努め、企業価値向上を実現してまいります。

以上

(ご参考)

三井住友トラスト・ホールディングス 2022 統合報告書ディスクロージャー誌
本編

<https://www.smth.jp/-/media/th/investors/disclosure/2021/all3.pdf>

